

京阪グループにおける環境活動の推進について

京阪グループでは、グループ全体として環境活動を推進するため、「環境マネジメント専門委員会」(委員長:丹羽 敬・当社常務取締役)を設けています。委員会では、当該年度の活動方針を決定するとともに、各社の活動推進状況を評価するなど、情報の共有化を図ることを通じて各社の環境活動への自発的な取り組みを促しています。

グループ各社の具体的な取り組みは、環境マネジメントシステムの構築・運用を大きな柱としています。具体的には、下記の4つの環境マネジメントシステムから、各社の事業内容などを勘案したうえで最適なタイプを採択し、推進するものとしています。

環境マネジメントシステムタイプ

認証タイプ

ISO14001、京都方式の「KES」や環境省の「エコアクション21」などの環境マネジメントシステム要求事項に適合したシステムで、外部審査機関による審査登録を行います

準拠タイプ

環境ISOに準じますが、その一部を省略したシステムです

基本タイプ

環境ISOの基本要素を抽出したシステムです

簡易タイプ

環境にやさしい改善活動のみを取り組みの対象とするシステムです



▲自走式ボーリングマシンによる土壌試料採取(かんこう)

●(株)かんこう・ (株)ソイルエンジニアリング

最も身近な生活基盤である土地の汚染、いわゆる土壌汚染の調査からスタートした(株)かんこう、(株)ソイルエンジニアリングの環境ビジネスは、アスベスト、トランスやコンデンサに含まれるPCB(ポリ塩化ビフェニル)、産業廃棄物といった分野にまでその野を広げてきました。

(株)かんこうは、航空測量により蓄積した航空写真などのデータや建設コンサルタ

京阪グループの環境ビジネス

ントとしての経験を、(株)ソイルエンジニアリングは、地質調査会社として保有するデータやノウハウをそれぞれ生かすとともに、世界的規模で環境修復工事を施工している米国ENSRインターナショナル社との技術提携のもと、環境問題に関する土地の履歴調査や汚染状況調査、浄化修復工事に対する提案などを行っています。受注規模は拡大傾向にあり、両社は相互に協力して、生活空間における環境ソリューションに取り組み続けています。

●(株)京阪エンジニアリングサービス

(株)京阪エンジニアリングサービスは、清掃事業を通じて建物内のさわやかな環境を常に保ちます。また、質の高い清掃は建物の保護につながり、ひいては耐久性の

向上による省資源化にも寄与することから、同事業を通じた環境保全を通じて社会に貢献しています。

●京阪園芸(株)

京阪園芸(株)は自然再生や屋上緑化、公園など、造園の企画・設計施工、維持管理を通して地球環境の保全に努めています。



▲屋上緑化の施工例(京阪園芸)